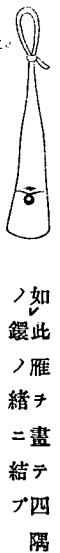


手ハ日夜トモニ柱ニカケ釣ンド欲ス時、鎧ヲツクリテ之ヲ結ブ、
龜ナルハ麻細引ヲ釣手ニ用フモアリ、又釣手端ニニ寸バカリノ竹ヲ横ニ結ビ、鎧ヲコレニ掛ル
モアリ、是ハ略儀トス。

三都トモニ、九月朔後未ダ蚊去ザル時ハ、紙ニ雁ヲ描テ四隅ニ付之。謠曰、蟬内ニ雁聲ヲ聞者ハ災
トス、蜻蛉ハ蚊ヲ食也、故ニ呪トスト、何レカ是非ヲ知ラズ、本



如此雁ヲ畫テ四隅

〔嫁迎記〕一御かちやう二はりあるべし、みづいろのすゞ、すみあかきゑんす、かざかづきくり梅じゆす、か
ぎゑやくどう。

〔婚禮法式下〕夜具之部

一御かちやう二はりあるべし、みづいろのすゞ、すみあかきゑんす、かざかづきくり梅じゆす、か
ぎゑやくどう也、かちやうの色すみへり、すそなど、定法もなし。

〔桂林漫錄下〕蚊帳畫雁

蚊帳ニ雁金ヲ染、或ハ紙ニテ切テ付ル事、其由來ヲ知人無シ、按ニ物理小識ニ、夏月線染蝙蝠血、橫
縫帳額蚊不入、ト載タルヲ見レバ、蝙蝠ハ蚊ヲ喰フ物故、厭勝ニ斯ハスルナル可シ、恐ラクハ崎嶇ナガサキ
ニ客寓ノ清人、夏ノ頃此意ニテ、帳額ヘ蝙蝠ノ形ヲ草畫ニ書テ、蚊ヲ避ル呪トセシ事ナド有シヲ、
好事ノ人、此邦ノ蚊帳ヘモ畫ケルガ轉傳シテ、イツシカ雁金トハ成ケルニヤ、畫箋ナドノ泥畫ニ、
蝙蝠ヲ寫意ニテ、如此書タルモノアレバナリ、

〔嬉遊笑覽八術〕按るに、御產所日記に、若君普廣院義勝御誕生永享六年甲寅二月九日、御產所波多野因幡入道元尙宿所鷹司西洞院、これは御袋の御方の里第なるべし云々、御產所の御具足色々々